

令和5年9月5日

吉野弘のこころを詠む 朗読コンクールの実施について

晩年を本市で過ごされた現代日本を代表する詩人「吉野弘」氏は、来年1月に没後10年を迎えます。この節目に、これまで市内の有志による実行委員会が開催していた朗読コンクールを、市主催のメモリアル事業として、実行委員会の皆様と協力連携し開催します。

本事業は、朗読という舞台芸術を通じて表現力や感情移入力を育むとともに、コンクールを通して「吉野弘」氏が選んだ本市を訪れていただき、本市と「吉野弘」氏の魅力を多くの方々に知っていただくことを目的として、下記の内容で、全国から参加者の募集を開始します。

記

1. 募集期間 令和5年9月20日（水）～10月30日（月）必着
2. 応募方法 ①web フォームから入力
②申込書と録音媒体を送付
3. 応募資格 プロ・アマ問わず
4. 部 門 ①一般 ②学生（中高生） ③ジュニア（小学生以下）
5. 一次審査 録音データ（mp3 または m4a 形式）による
6. 決勝大会 日時：令和6年1月20日（土）
会場：ロゼシアター 小ホール
開演：13時30分～
7. 主 催 富士市
8. 企画運営 吉野弘のこころを詠む実行委員会

【事業に関する問合せ】 総務部シティプロモーション課
シティプロモーション戦略担当
電話／0545-55-2958
e-mail／so-citypro@div.city.fuji.shizuoka.jp

【次ページに続く】



いただきへの、はじまり 富士市



吉野 弘 氏

現代日本を代表する詩人。
多くの中学国語の教科書に採択される。
代表作に「祝婚歌」「奈々子に」「虹の足」
「夕焼け」「生命は」がある。
ご家族は今も富士市に在住。

大正 15 年 山形県酒田市で生まれる
平成 19 年 富士市青葉台地区に転居
平成 26 年 肺炎のため富士市の自宅で死去
(享年 88 歳)
令和 2 年 エスプラット・フジスパーク施設内に
歌碑が設置される。

富士山をととても愛した「吉野弘」氏は晩年を富士山がいつも
仰げる富士市に住まわれ「富士」という詩を残しています。

【富士】

葛飾北斎は「富嶽三十六景」を描いた
安藤広重も「富嶽三十六景」を描いた
北斎は後に「富嶽百景」も描いた
池大雅も横山大観も梅原龍三郎も富士を描いた
僧契沖は富士百首を詠んだ
藤田東湖は富士百句を詠んだ
一流の人の一流の作
富士燦然
一流の人は一流の褒め方をする
では一流でも二流でもない私は
どうすればいい？
絵に描かず、歌や句にせず
富士を、目で愛するだけにしよう
目で愛することには、二流も三流もない
誰でも一流
いじけることはない
思わず見つめてしまうことそれこそ、
一流の褒め方だと
信じていよう
それでいい、と
富士が私に目配せを送ってくれた